

合理的配慮の提供に関する申請書

申請日 年 月 日

1 申請者

フリガナ		第 学年	学籍番号
申請者氏名 (自署)		所 属 (○で囲む)	人間社会学科 コミュニティ福祉学科 現代コミュニケーション学科 食物栄養学科
携帯電話		保護者氏名 (自署)	
メー ル		携帯電話	
		メー ル	

2 障害の種類及び添付書類（該当欄にレ点を記入してください。）

種 別	身体障害【視覚・聴覚・言語・肢体不自由など】	難病	病弱・虚弱
	精神障害	発達障害	知的障害
	その他：		

添付書類 (写し)	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳	療育手帳
	診断書	その他：	なし

3 症状及び障害の状態等について具体的に記入してください。

--

4 希望する配慮や支援について具体的に記入してください。

--

5 情報共有について

配慮・支援に必要な情報（氏名、障害の内容等）を関係する本学教職員と共有することを了解します。	申請者署名 (自署)
出身校等と支援内容等に関して情報共有することを了解します。	申請者署名 (自署)

「合理的配慮の提供に関する申請書」記入要領

1 申請者

申請者は、保護者等の同意の上、署名をお願いします。保護者等の同意を得るのが難しい場合は学生修学サポートセンターに相談してください。連絡先は、携帯電話等の直接連絡が取れる番号を記入してください。（入学予定者は学籍番号の欄に受験番号を記入してください。）

2 障害の種別及び添付書類について

合理的配慮を提供するためには、根拠となる資料(診断書等の写し)が必要です。提出が難しい場合は学生修学サポートセンターに相談してください。

診断がついている場合は該当欄にレ点を記入してください。診断がついていない場合は、該当すると思われる欄にレ点を記入してください。

添付書類がある場合は該当欄にレ点を記入してください。取得中の場合は「その他」の欄に「取得中」と記入してください。添付書類がない場合は、「なし」の欄にレ点を記入し、理由等を3の欄に記入してください。

3 症状及び障害の状態等について

上記2でレ点を記入した障害について具体的な症状等について記入してください。

例：対人コミュニケーションが苦手/マルチタスク(複数作業の同時進行)が苦手/
聴覚記憶(耳で聞いて覚えること)が苦手/板書に時間がかかる。

4 希望する配慮や支援について

上記3の記載内容に基づき希望する配慮や支援について具体的に記入してください。

例：補助用機器(ノイズキャンセリング機能があるヘッドホン等)の使用許可
課題提出期限の延長、授業の座席指定(出入口近くの着席等)の許可
試験時間の延長、試験の別室受験や解答方法の変更等の試験に関する配慮

5 情報共有について

配慮・支援に必要な情報(氏名、障害の内容等)を、関係する本学の教職員と共有することを了解する場合には右欄に署名してください。

出身校等と支援内容等に関して情報共有することを了解する場合には右欄に署名してください。（署名がなくても配慮・支援に影響はありません。）

6 その他

- (1) 様式に記入が難しい場合には、通宣別紙等を用いてください。
- (2) 希望された配慮や支援については、対応を約束するものではありません。授業内容等により配慮を提供できない場合があります。配慮内容が妥当かどうかの判断基準として「教育の目的・内容・評価の本質を変えない」という原則があります。
- (3) 授業や試験に関する具体的な配慮内容は、各科目担当者と相談していただきます。
- (4) 申請は年度ごとに行ってください。
- (5) 書式の電子ファイルが必要な場合はお申し出ください。
- (6) その他不明な点は以下の窓口に相談してください。

担当 学生修学サポートセンター

054-262-4325 (直通) s-center@shizuoka-eiwa.ac.jp